

2022年1月9日 午前礼拝  
「キリストのうちにとどまり続ける」 説教者:堺希望伝道師

**Iヨハネ2:26~28**

私は、あなたがたを惑わそうとする人たちについて以上のことを書いて来ました。あなたがたの場合は、キリストから受けたそそぎの油があなたがたのうちにとどまっています。それで、だれからも教えを受ける必要がありません。彼の油がすべてのことについてあなたがたを教えるように、——その教えは真理であって偽りではありません——また、その油があなたがたに教えたとおりに、あなたがたはキリストのうちにとどまるのです。そこで、子どもたちよ。キリストのうちにとどまっていなさい。それは、キリストが現れるとき、私たちが信頼を持ち、その来臨のときに、御前で恥じ入るといふことのないためです。

**【説教要約】**

**①クリスチャンはなぜ特別？**

前回、反キリストのことを少し取り上げました。イエス様を信じていなかった反キリスト達は、ある時、この教会から出て行ったのです。彼らは、「自分たちしか知らない特別な知識」を誇っていましたから、出て行く時に、教会の兄弟やイエス様を馬鹿にしていったのではないかと想像がつかます。「神が人となって、わざわざあなたのために死刑になって罪の身代わりとなった？よみがえった？そんなことを本気で信じているのか」と。

そのように教会から去って行ったので、残された教会には大きな傷があったのではないかと思います。教師が、イエス様や自分たちの信仰を馬鹿にしていなくなる。そのようなことは味わったことはありませんが、最もつらい悲しみになることは分かります。そこでヨハネは、「自分たちは特別だと思っているだけの反キリスト」と、「神様の目に本当に特別であるクリスチャン」をはっきり分けました。

**偽り者とは、イエスがキリストであることを否定する者でなくてだれでしょう。御父と御子を否認する者、それが反キリストです。**

**だれでも御子を否認する者は、御父を持たず、御子を告白する者は、御父をも持っているのです。**

**Iヨハネ2:22-23**

イエス様を自分の救い主として受け入れた人は、天地万物を造られた神様をも受け入れたことになるのです。

イエス様を受け入れた人は、イエス様とともに生きているし、天の神様とともに生きているのです。

ユダヤ人はしるしを要求し、ギリシヤ人は知恵を追求します。

しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。ユダヤ人にとってはつまずき、異邦人にとっては愚かでしょうが、

しかし、ユダヤ人であってもギリシヤ人であっても、召された者にとっては、キリストは神の力、神の知恵なのです。

### **Iコリント 1 : 22-24**

ユダヤ人は旧約聖書を信じていましたが、「旧約聖書を預けられた自分たちこそ特別だ」と神様ではなく自分たちを誇っていました。それで、イエス様が十字架にかけられてよみがえったと聞いても、「神の奇跡なら、もっと派手で力強いはずだ」と思うでしょう。「しるし」とは奇跡のことだからです。

ギリシヤ人は「ギリシヤ哲学」という言葉に代表されるように、世界を自分の頭の中で理解したいエリートたちでした。「神が人となってあなたのために死なれた」と聞いても、めちやくちゃで荒唐無稽な話にしか思えなかったでしょう。

なぜなら「イエス様が私の罪の死なれた」と信じる事には、「私は、神が側にやってきて、死ななければならぬ程の罪人なんだ」と認めなければなりません。それは、「自分には救われる価値も**力も**魅力もない」とプライドを砕かれた人でなければできないのです。

しかしピラトは三度目に彼らにこう言った。「あの人がどんな悪いことをしたというのか。あの人には、死に当たる罪は、何も見つかりません。だから私は、懲らしめたくらうで、釈放します。」

ところが、彼らはあくまで主張し続け、十字架につけるよう大声で要求した。そしてついにその声が勝った。

民衆はそばに立ってながめていた。指導者たちもあざ笑って言った。「あれは他人を救った。もし、神のキリストで、選ばれた者なら、自分を救ってみろ。」

兵士たちもイエスをあざけり、そばに寄って来て、酸いぶどう酒を差し出し、「ユダヤ人の王なら、自分を救え」と言った。

### **ルカ 23 : 22-23, 35-37**

私は、「イエス様は私のために死んでくださった」と信じていました。しかしある時、人に対して苛立ちや不満が消えなかった時、「イエス様は進んで十字架にかかってくくださった」だけでなく、「イエス様を十字架につけた人の中に自分がいた」のだと分かりました。私の苛立ちや叫びを、イエス様は十字架で受け切ってくださいましたのです。

ですから、十字架でのイエス様の祈りは、まさに私のための祈りです。

「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」

### **ルカ 23 : 34**

私は罪人である。そう認める人には、十字架は神様の奇跡です。一番、「特別」から遠い者を、特別に救い、特別に神のこどもとしてくださって、永遠に一緒にいてくださるのです。

## **②聖霊がすべてのことについて教えてください**

私は、あなたがたを惑わそうとする人たちについて以上のことを書いて来ました。あなたがたの場合は、キリストから受けたそそぎの油があなたがたのうちにとどまっています。それで、だれからも教える必要がありません。彼の油がすべてのことについてあなたがたを教えるように、——その教えは真理であって偽りではありません——また、その油があなたがたに教えたとおりに、あなたがたはキリストのうちにとどまるのです。

**Iヨハネ 2 : 26-27**

神様の本当の奇跡である福音は、世の中にとっては邪魔な存在です。人はプライドを砕かれたくないからです。それでイエス様は不当な裁判にかけられて殺されました。また、Iヨハネでは反キリストが教会を傷つけて去っていきました。

もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよりもわたしを先に憎んだことを知っておきなさい。

もしあなたがたがこの世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、かえってわたしが世からあなたがたを選び出したのです。それで世はあなたがたを憎むのです。

しもべはその主人にまさるものではない、とわたしがあなたがたに言ったことばを覚えておきなさい。もし人々がわたしを迫害したなら、あなたがたをも迫害します。もし彼らがわたしのことばを守ったなら、あなたがたのことばをも守ります。

**ヨハネ 15 : 18-20**

神の子どもとされた者は、この世の者ではなくなったので、この世は神の子どもを迫害しません。

イエス様のこのことばを始め、信仰に生きるなら迫害に遭うことを聖書は教えています。迫害の形は様々だと思います。聖書の当時は、ユダヤ人は、イエス様を救い主だと告白するとコミュニティから追放されて、暮らす場所がなくなりました（ヨハネ 9 章）。ローマ人は、ローマ皇帝が神々の一人であり救い主だと信じられていたので、「神はただお一人であり、救い主はイエス様だ」と告白することは直接的な国家反逆になりました。聖書後の時代はもっと厳しくなり、それだけで死刑になる時代もありました。

今の日本では、そのような形の迫害はないと思いますが、本気で神を信じていると言うだけで、白い目で見られる文化ではないでしょうか。

ある方はご家族に伝道したために家族の中で孤立しました。ある人は会社で上司から威圧的な態度と乱暴な扱いを受けました。

どのようであれ、信仰をしっかりと持ち続けることと、告白や伝道をすることは常に勇気のいることです。

Iヨハネ 2 : 27 では、迫害の中で誰の声に耳を澄ますべきかが書いてあります。

あなたがたの場合は、キリストから受けたそそぎの油があなたがたのうちにとどまっています。それで、だれからも教える必要がありません。彼の油がすべてのことについてあなたがたを教えるように、——その教えは真理であって偽りではありません——また、その油があなたがたに教えたとおりに、あなたがたはキリストのうちにとどまるのです。

## Iヨハネ 2 : 27

それはキリストの油、すなわち聖霊です。聖霊が私たちに教えてくださるのです。

**わたしが父のもとから遣わす助け主、すなわち父から出る真理の御霊が来るとき、その御霊がわたしについてあかしします。**

しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。

御霊はわたしの栄光を現します。わたしのものを受けて、あなたがたに知らせるからです。

### ヨハネ 15 : 26、16 : 13-14

聖霊は、私たちに真理を教えてください。そして、聖霊こそがイエス様を証して、神の栄光を世に現してくださるのです。

Iヨハネ 2 : 27 に「だれからも教えを受ける必要がありません」と言われています。御霊が教えてくださるからです。これは、何が本当に大事なことが、神様から出たものなのかを聖霊が判断して、確信を持たせてくださるということです。

**まさしく、聖書に書いてあるとおりです。「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」**

神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及ばれるからです。

いったい、人の心のことは、その人のうちにある霊のほかに、だれが知っているでしょう。同じように、神のみこころのことは、神の御霊のほかにだれも知りません。

生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。それらは彼には愚かなことだからです。また、それを悟ることができません。なぜなら、御霊のことは御霊によってわかまえるものだからです。

### Iコリント 2 : 9-11、14

聖霊は神様御自身なので、何がみこころなのかを完全に知っておられます。私たちが、人の心は分からなくても、自分の心の中を知っているように、神様のみこころも神様御自身しか知りません。しかし、その御霊を神様は私たちの心の中に与えて下さったのです。

偽の教えに振り回された Iヨハネの教会の人々は、聖霊の声に従って、その教えが間違いであり、自分が最初に受けたイエス様の十字架だけが真理であるということに留まりました。それは今の私たちも同じです。信仰には逆境があります。迫害があります。その時に踏みとどまる力は、私たちそれぞれの中にいてくださる御霊にあります。そして御霊は、一人一人の中にあるイエス様と出会ったときの体験とともに働いてくださいます。

私は、かつて長いこと、ある社会的にエリートのコリントのクリスチャンから馬鹿にされ続けていたこ

とがありました。私には立派な経歴もなく、年齢も若く、それに苛々してお説教してくる人がいたのです。その人いわく、「信仰だけじゃだめだ」と。つらかったです。多い時は週に6時間ほどお説教がありました。

その環境にも問題があったとは思いますが、私は、たとえ自分がどんなにみじめで取るに足らない存在でも、「信仰だけ」というのは譲れなかったので、耐え続けていました。今も、なぜ神様がそのことを私の身に起きるのを良しとされたのか分かりませんが、ぼろぼろになりながらも自分の信仰は守り抜いたと思います。

その時ずっと土台にあったのは、「私なんかのために死んでくださったイエス様の十字架」の感動だったのです。

人が最高の教師なのではありません。自分自身も、何かを決定する最高の権力者ではありません。すべての正しいことを教えてくださるのは御霊なのです。御霊の教えを一番にし従う時、みこころを行なうことができます。

### ③キリストが現れるときまで

そこで、子どもたちよ。キリストのうちにとどまっていなさい。それは、キリストが現れるとき、私たちが信頼を持ち、その来臨のときに、御前で恥じ入るといふことのないためです。

**Iヨハネ 2 : 28**

逆境や迫害に立ち向かっていくには、イエス様がもう一度来られるということ覚えておくことも大切です。

将来、イエス様はもう一度天から来られます。その時、すべての人に知られて来なかったことが明らかにされます。良いことも、悪いことも主は覚えておられるからです。

ですから、あなたがたは、主が来られるまでは、何についても、先走ったさばきをしてはいけません。主は、やみの中に隠れた事も明るみに出し、心の中のはかりごと明らかにされます。そのとき、神から各人に対する称賛が届くのです。

**Iコリント 4 : 5**

主は、誰の目にも留まらなかった行動や、心の中で起きた出来事を一切知っておられます。ですから、このIヨハネの箇所では、主が来られるまでキリストにとどまっていようと勧めがされています。もし主が来られたときに「主が来られる」ことに望みを置いて生きていたならば、それが明らかにされて、イエス様からの報いに、かつてなかった程の喜びに満たされることでしょう。

しかしその日は同時に、主に信頼していなかったことも明らかになるため、もし主の救いに土台を置いて生きていなかったら、それが明らかにされて、イエス様の前で恥ずかしくなってしまう。

私たちはどんなことでも、「このことを主が知っていてくださる」と信じるから、前に進んで行くことができるのです。

「今日、主が来られたら」。そこに目を留め、主に信頼を置かない時には、すぐに悔い改め

て、キリストのうちに留まり続けたいと思います。

最後に、暗証聖句を一緒に読みましょう。

愛する者たち。私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。

愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。

神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。

私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

**Iヨハネ 4：7-10**

【説教者:堺希望伝道師】